第６学年　家庭科学習指導案

奥州市立水沢南小学校

１題材名　くふうしよう　朝の生活

２本時のねらい

　朝食の大切さが分かり、栄養バランスのよい朝食を考えたり、自分なりに工夫したりする。

Ｔ１：担任　　Ｔ２：栄養教諭

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 学級活動 | 教師の支援・留意事項 | 評価・準備 |
| つかむ３分 | １　朝食調査の結果からクラスの　　実態を知る。２　朝食の必要性を考える。３　学習課題を確認する。 | ・朝食調査の結果からクラスの実態を　つかませる。（Ｔ１）・朝の生活を思い出させ、なぜ朝食を　食べるのか考えさせる。（Ｔ１） |  |
|  | 朝食の働きと、より良い朝食のとり方について考えてみよう。 |  |
|  |  |
| ふかめる32分 | ４　自分の朝食で気づいたことを発表する。５　朝食の働きを知る。　　　　○脳を動かすエネルギーにな　　　る。 　　○体温を上げる。   　　　○便秘を防ぐ。 ６　栄養バランスのよい朝食について知る。７　自分の朝食を、本時の学習をもとに振り返る。 | ・今日の朝食のメニューを記入させ、気づいたことを発表させる。（Ｔ１）・朝食の働きについて知らせる。（Ｔ２）○脳が活動するためには、炭水化物（ブドウ糖）を必要とすることを、模型を使って理解させる。○朝食摂取直後のサーモグラフィの図　を示し、食べたものが熱となること　に気付かせる。さらに午前中の体温　変化グラフを読み取らせ、朝食が午　前中の活動源となっていることを理　解させる。　○体に食べ物が入ると不要な物を体外　に出そうとする様子を体内模型を使　って気付かせる。　・本日の給食を示し、朝食に必要な栄養バランスについて伝える。（Ｔ２）・今日の朝食のメニューを食事の基本　に合わせて分類させ、自分の食事の　栄養バランスについて気付かせる。納豆など、調理しなくても食べられる食品活用を伝える。　（Ｔ２） | ワークシート肝臓、脳の模型ｻｰﾓｸﾞﾗﾌｨの図体温変化ｸﾞﾗﾌ体内模型 |
|  | ◇朝食が体の中　で大切な働き　をしているこ　とがわかる。（知識・理解） |  |
|  |
|  |
|  |
|  |
| 給食写真紙板書ワークシート |
| まとめる10分 | ８　まとめを確認する。 | （Ｔ１） | ワークシート |
|  |  朝食には、おもに３つの働きがある。より良い朝食とは 栄養バランスを考えてとることである。 |   |
|  |
|  |
|  | ◇栄養バランスのよい朝食を考えたり、自分なりに工夫したりしている。（創意・工夫） |  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
| 今日の課題 |  |

　　　　　　　　　　　　 　　　　　６年　　　組　　　　番　名前

|  |
| --- |
|  |

＊今日の朝食のメニューを書きましょう＊

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 食卓に出ていた料理名 |  |  |  |  |  |  |  |
| 食べた料理に○をつける |  |  |  |  |  |  |  |
| 食事の基本 |  |  |  |  |  |  |  |

☆朝食の働き☆

 １，

 ２，

 ３，

☆今日のまとめ☆

|  |
| --- |
|  |

☆今日の授業でわかったこと、これからの目標を書きましょう☆

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

☆保護者のみなさまへ☆

　今日、子どもたちは「朝食のとり方」について学習しました。

　お子さんの日ごろの食生活や学習後の感想などを見て、保護者の方から一言記入をお願いします。

|  |
| --- |
| 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　  　　　　　　 |